

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和4年度、実績値：令和5年3月末

ステップ1：認定率の比較（年間）

(%)

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		0.0%	16.1%	-16.1%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.7%	-3.7%	
	後期高齢者	0.0%	26.2%	-26.2%	

ステップ2：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	4,488	5,033	112%		
	訪問入浴介護	人/年	396	348	88%		
	訪問看護	人/年	4,860	4,926	101%		
	訪問リハビリテーション	人/年	1,176	1,037	88%		
	居宅療養管理指導	人/年	4,860	9,461	195%	乖離あり	医療系サービスの利用増加
	通所介護	人/年	6,180	7,880	128%	乖離あり	事業所の増加
	通所リハビリテーション	人/年	5,412	2,917	54%	乖離あり	コロナ禍における利用控え
	短期入所生活介護	人/年	1,764	1,396	79%	乖離あり	コロナ禍における利用控え
	短期入所療養介護（老健）	人/年	144	131	91%		
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	0			
	福祉用具貸与	人/年	13,032	13,730	105%		
	特定施設入居者生活介護	人/年	1,584	1,509	95%		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	108	46	43%	乖離あり	施設未整備
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	12	0	0%	乖離あり	利用者の減少
	小規模多機能居宅介護	人/年	384	184	48%	乖離あり	施設未整備
	認知症対応型共同生活介護	人/年	648	503	78%	乖離あり	施設未整備
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	12	0	0%	乖離あり	利用者の減少
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	348	353	101%		
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	0	0			
	地域密着型通所介護	人/年	1,272	906	71%	乖離あり	事業所の減少
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	3,024	2,749	91%		
	介護老人保健施設	人/年	3,696	3,074	83%		
	介護医療院	人/年	0	31			
	介護療養型医療施設	人/年	36	21	58%	乖離あり	利用者の減少
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	17,808	19,121	107%		

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	86,718	88,411	-1,693	一人当たりの利用回数の増加
	訪問入浴介護	68,038	59,272	8,766	
	訪問看護	47,002	44,377	2,625	
	訪問リハビリテーション	40,935	32,396	8,538	
	居宅療養管理指導	13,719	7,086	6,633	
	通所介護	84,223	76,324	7,899	
	通所リハビリテーション	64,637	60,728	3,908	
	短期入所生活介護	73,110	84,405	-11,295	長期利用者がいないか適正化システムで確認
	短期入所療養介護（老健）	99,931	103,070	-3,139	長期利用者がいないか適正化システムで確認
	短期入所療養介護（病院）				
	福祉用具貸与	11,235	11,820	-586	
	特定施設入居者生活介護	170,891	179,917	-9,026	利用者の介護度の変化を確認する
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	241,250	141,908	99,342	
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護	49,083			
	小規模多機能居宅介護	212,484	205,581	6,904	
	認知症対応型共同生活介護	256,963	261,124	-4,161	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	210,000			
	地域密着型介護老人福祉施設	258,319	294,237	-35,918	利用者の介護度の変化を確認する
	看護小規模多機能型居宅介護				
地域密着型通所介護	94,604	104,846	-10,242	一人当たりの利用回数の増加	
施設サービス	介護老人福祉施設	255,200	262,374	-7,174	
	介護老人保健施設	277,822	293,279	-15,457	
	介護医療院		241,386		
	介護療養型医療施設	400,583	518,995	-118,411	
介護予防支援・居宅介護支援		12,846	13,084	-238	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

本市は施設サービスが多くあり、要介護1、2の人は老人保健施設、その後に介護老人福祉施設という流れがある。介護老人福祉施設、介護老人保健施設に加え、認知症対応型共同生活介護においても利用者の高齢化に伴い、平均介護度が重度化している。在宅介護という選択ができるよう、サービス提供体制を構築していく必要がある。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

(%)

サービス名	計画値 (8期中)	整備数 (R4.3末)	達成率 (整備数/ 計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
定期巡回・随時対応型 (施設数)	1	0	0%	公募したが募集なし
夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		

地域密着型 サービス	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		
	小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	0	0%	公募したが募集なし
	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	27	9	33%	1ユニットは令和4年度末に整備、令和5年度より開始。 残り2ユニットについては現在空きがある状態のため、検討中。
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0		
	地域密着型通所介護 (施設数)	0	0		

- ・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。  
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
- ・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。

公募を行い、問い合わせはあるものの採算が取れない等の理由から実際には応募してこないケースが多い。  
また、認知症対応型共同生活介護については、現存施設に空きがある状態が続いていることもあり、今後の整備については検討しなおす必要がある。